

「24人のビリー・ミリガン（ある多重人格者の記録）」 ダニエル・キース  
( The Minds of Billy Miligan )

「ビリー・ミリガンと23の棺」  
( The Milligan Wars )

Daniel Keyes

のちにビリー・ミリガンの物語の一部となった数多くの外部の人々の名前と混同されないように、交代人格たちの名前を次にあげる。肉体的な特徴は、それぞれの人格の目に映った自分の姿を、彼らが述べるとおりに書き記したものである。

<十人>

意識を持つおもな別人格。一九七〇年代後半のミリガンの最初のレイプ裁判当時、精神科医、弁護士、警察、メディアに知られていた人々。

1 ウィリアム・スタンリー・ミリガン（「ピリー」） 二十七歳。基本の人格もしくは核となる人格で、のちに「分裂したビリー」あるいは「ビリーU」と呼ばれる。高校中退。身長六フィート、体重百九十ポンド。目は青く、髪は茶色。

2 アーサー 二十二歳。イギリス人。合理的で、感情の起伏がなく、イギリスのアクセントで話す。独学で物理学と化学を学び、医学書を研究している。流暢なアラビア語を読み書きする。徹底的な保守派で、自分を資本主義者だとみなしているが、無神論者と公言している。ほかの人格たち全員の存在を最初に発見した。安全な場所にいるときはほかの人格たちにたいして支配権を持ち、「家族」の誰が外に出て意識を持つか（スポットと呼ばれている）を決定する。金縁眼鏡をかけている。

3 レイゲン・ヴァダスコヴィニチ 二十三歳。憎悪の管理者。彼の名前は「再度の憎悪（レイヴ・アグイ）」からとられた。英語を話すときは顕著なスラヴ訛りがある。セルビア・クロアチア語を読み、書き、話す。銃と弾薬の権威で、カラテの達人。アドレナリンの流れを自在に操れるために、途方もない力を発揮する。共産主義者で無神論者。ほかの人格たちの保護者であり、一般に女性と子供を守る。危険な場所にいるときは、誰が意識を持つかをきめる。犯罪者や麻薬常用者と交わり、犯罪行為、ときには暴力的な行為をすることを認めている。体重二百十ポンド。たくましい腕を持ち、髪は黒、垂れさがった口ひげを生やしている。色覚異常なので、黒と白でスケッチする。

4 アレン 十八歳。口先がうまく、他人を巧みに言いくるめるので、外部の者との交渉にあたることが多い。不可知論者で、「この世で人生を最大限に楽しむ」という態度をとっている。ドラムを叩き、肖像画を描き、人格たちのなかで、ただひとり煙草を喫う。ビリーの母親と親密な関係にある。身長はウィリアムと同じだが、体重は少ない（百六十五ポンド）。髪を右側で分けている。

5 トミー 十六歳。縄抜けの名人。アレンと間違えられることが多い。だいたいにおいて喧嘩腰で、反社会的。サキソフォンを吹き、電気の専門家で、風景画を描く。髪はマディ・ブロンド、目はアンバー・ブラウン。

6 ダニー 十四歳。怯えている。人々、とくに男性を怖がる。自分の墓を掘らされ、生き埋めにされた経験がある。そのため、静物画だけを描く。肩までの金髪、青い目。小柄で痩せている。

7 デイヴィッド 八歳。苦痛の管理者。感情移入し、ほかの人格たちの苦しみや苦痛を吸収する。きわめて過敏で知覚力が鋭いが、集中期間が短い。たいていの場合、混乱している。暗赤色がかかった茶色の髪、青い目。身体は小さい。

8 クリステン 三歳。隅の子供。学校で隅に立たされるので、そう呼ばれるようになった。利発なイギリス人の少女で、読むことも活字体で書くこともできるが、矢読症。花や蝶の絵を描いて色を塗るのを好む。肩までの金髪、青い目。

9 クリストファー 十三歳。クリステンの兄。イギリスのアクセントで話す。従順だが、不安を抱えている。ハモニカを吹く。髪はクリステンに似た茶色っぽい金髪だが、前髪は彼のほうが短い。

10 アダラナ 十九歳。レスビアン。内気で、孤独で、内向的。詩を書き、ほかの者のために料理その他の家事をする。長い黒髪が筋になって垂れている。眼振のため、茶色の目がときどき左右に動くので、「踊る目」を持っていると言われる。

<好ましくない者たち>

好ましくない特色を持つため、アーサーに抑え込まれている。アセズ精神衛生センターで、はじめてドクター・デイヴィッド・コールの前に姿をあらわした。

11 フィリップ 二十歳。乱暴者。強いブルックリン訛りがあり、俗悪な言葉を話す。軽犯罪を犯している。「フィル」と名乗ったと被害者が報告したために、警察やメディアは、知られている十人以外の人格が存在する手がかりを得た。縮れた茶色の髪、はしばみ色の目、鉤鼻。

12 ケヴィン 二十歳。立案者。しろうと臭い犯罪者で、グレイ薬局の強盗を計画した。書くのを好む。金髪、グリーンの目。

13 ウォルター 二十二歳。オーストラリア人。口ひげを生やしている。大型獣のハンターだと思っている。方向感覚が抜群で、位置を確認するために利用される。感情を抑制している。

14 エイプリル 十九歳。あばずれ。ボストン訛りがある。ビリーの養父チャーマーにたいして、狂暴な復讐心を燃やしている。ほかの人格たちは、彼女を異常だと言っている。縫い物をして、家事に協力する。黒髪、茶色の目。

15 サミュエル 十八歳。さまよえるユダヤ人。正統派ユダヤ教徒で、人格たちのうち、

ただひとり神を信じている。彫刻家で、木を彫る。黒い縮れ毛。顎ひげを生やし、目は茶色。

16 マーク 十六歳。馬車馬のように働く。単調な労働をする。自主性がない。ほかの人格に命じられなければ何もしない。何もすることがなければ、壁を見つめている。ときどき、「ゾンビ」と呼ばれる。

17 スティーヴ 二十一歳。つねに人をかつぐ。人々の真似をして嘲る。極端に自己中心的。多重人格という診断を断じて受け入れない。嘲笑的な物真似をするためにまわりの者の怒りを招き、ほかの人格たちにしばしば迷惑をかける。

18 リー 二十歳。コメディアン。悪ふざけを好む。道化師。彼の悪ふざけのために、刑務所や最重警備病院で喧嘩が起こり、ほかの人格たちが独房に入れられた。人生にも自分の行動の結果にも関心を持たない。褐色の髪、はしばみ色の目。

19 ジェイスン 十三歳。安全弁。ヒステリックに反応し、癩癩を起こすために、しばしば罰を与えられる。不快な記憶を引き受けるため、ほかの人格たちは不愉快な出来事を忘れ、結果として記憶を喪失する。茶色の髪、茶色の目。

20 パート（ボビー） 十七歳。夢想家。絶えず旅と冒険を空想している。世の中をよりよい場所にしようと夢見ているが、野心も知的関心もない。

21 ショーン 四歳。耳が不自由。知恵遅れとみなされることが多い。頭のなかのヴァイブレーションを感じようとして、蜂の羽音に似たズズズという音をたてる。

22 マーティン 十九歳。俗物。見栄っばりのニューヨークっ子。自慢屋で、気取り屋。努力しないでいろいろなものをほしがる。金髪、灰色の目。

23 ティモシー（ティミー） 十五歳。花屋で働いたが、そこでホモセクシュアルの男と出会い、モーションをかけられて怯え、自分だけの世界に入ってしまった。

#### <教師>

24 教師 二十三の別人格がひとつに統合された人格。二十七歳の<教師>は、ほかの人格たちに彼らが身につけたものすべてを教えた。聡明で、感受性が強く、すばらしいユーモアがある。「わたしはひとつに統合されたビリ - です」と言い、ほかの人格たちを「わたしがつくったアンドロイド」と呼ぶ。<教師>はほぼ完全な記憶を持ち、彼の出現と協力によって、本書の執筆が可能になった。